

令和 5 年度 (2023 年度)

事業報告書

社会福祉法人 大津町社会福祉協議会

全体総括

1. 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施

- (1) 地域福祉関係
- (2) 法外援護救済関係
- (3) 心身障がい(児)者福祉関係
- (4) ひとり親(母子・父子等)家庭福祉関係
- (5) 老人福祉関係
- (6) 青少年福祉関係
- (7) 低所得者福祉関係
 - 生活福祉資金貸付事務受託関係(県社協委託事業)
 - 生活困窮者等自立相談支援事業関係(県社協委託事業)
 - 福祉金庫の設置・運営
- (8) 権利擁護関係
 - 法人後見事業関係(町補助事業)
 - 地域福祉権利擁護事業関係(町補助事業・県社協委託事業)

2. 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助

- (1) ボランティア推進関係
- (2) 善意銀行の設置・運営

3. 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成

- (1) 福祉啓発関係
- (2) 各種福祉団体への助成
- (3) 調査広報関係

4. 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業

- (1) 各種募金活動への協力(日赤、共募)
- (2) 在宅福祉事業状況関係
 - 介護用品等の無料貸出
- (3) 受託事業関係
 - (ア) 高齢者ホームサポート事業状況
 - (イ) 食の自立支援事業状況
 - (ウ) 生きがい活動通所支援事業状況
 - 介護予防はつらつ元気づくり事業状況
 - 介護予防型ミニデイふれあい事業状況
 - (エ) 心配ごと相談事業状況
 - (オ) 老人福祉センター利用状況集計表
 - (カ) 生活福祉資金貸付事務受託関係
 - (キ) 生活困窮者等自立相談支援事業関係
- (4) 介護保険事業等状況関係
 - (ア) 居宅介護支援事業等状況
 - (イ) 訪問介護事業等状況
 - (ウ) 通所介護事業状況
- (5) 介護職員処遇改善の状況
- (6) 障がい者居宅介護事業状況関係
 - (ア) 居宅介護事業等状況
- (7) 事務局関係
 - 役員会等
 - 実習受入関係
 - 職員研修・会議等(年間活動 報告表)
 - 職場内研修関係
 - 各種団体事業への協力
 - その他

令和 5 年度(2023 年度)

事業報告

全体総括

はじめに

大津町社会福祉協議会は、公共性の高い非営利的な地域福祉事業と、本会が受託運営する公共的な在宅支援の福祉サービス、介護保険事業等とを融合させながら、住民に寄り添い、地域ニーズに適切に対応することを旨とし、柔軟性を発揮した事業展開を行ってきました。令和 5 年度は、長期化した新型コロナウイルスが 5 類感染症へ移行し、従来の地域での助け合いや繋がり活動が再開する中、感染症対策を継続し事業を実施しました。年間を通しては在宅福祉サービス事業、特に介護予防に係る受託事業の利用者の伸び悩みが顕著となりました。社協の自主財源からの補てんが常態化している委託事業は委託元と適切な委託料設計について協議し見直しを図るほか、ファンドレイジングの視点で寄附金を含む自主財源の確保に努め財政の安定化を図り、地域福祉と経営を両立していくことが重要な課題となっています。

地域福祉事業

「共に支え合う地域コミュニティづくり～大津モデルの実現～」を基本理念とする『第 3 期地域福祉計画・地域福祉活動計画』に基づき地域福祉事業と、その計画推進を下支えする社協の組織体制を強化する計画『第 2 期社会福祉協議会発展・強化計画』を継続し実施しました。町と協働で取り組んでいる地域福祉推進事業(町受託事業：地域づくり推進事業)は、通常地域支援活動が戻りつつある中、地域福祉推進懇談会を小学校区毎で実施、小地域福祉活動実践地区 16 地区と小地域活動推進地区 1 地区での座談会開催支援 6 回と、活動支援 14 回、41 行政区(+5 地区)より選出された地域福祉推進委員 67 名(+6 名)への委嘱状交付と研修会を実施しました。新型コロナの影響で事業の中止が続いていた在宅介護者の集いや一日ふれあい交流会等は、4 年ぶりに通常規模で実施することができました。

低所得者支援

物価高騰の影響で生活に困窮した方に対しては、生活福祉資金貸付事業や町と協働して福祉金庫特例貸付を運営し、247 件の相談に応じました。福祉金庫特例貸付として 9 件、計 16 万 8 千円を貸付け、貸付の非該当者には、食糧支援(米・レトルト食品等)を行いました。県社協より受託の生活困窮者等自立相談支援事業は、76 人 1,048 件の相談を受け、家計改善支援事業者(グリーンコープ)と連携して生活全般の課題解決を支援し、本町の生活困窮者対策(失業や低所得世帯)の一助を果たしました。事業化 2 年目を迎えた支え合いフードパントリー事業では、ひとり親家庭福祉協議会や民生委員児童委員協議会、役場福祉課や環境保全課と協働で取り組み、SDGS やフードロス活動を物価高騰の状況下で収入が減少した世帯や生活困窮世帯への支援に繋げる仕組みを継続しました。

介護保険事業

「居宅介護支援事業」(ケアプラン作成管理)では、在宅生活継続支援を念頭に、要介護認定利用者によりきめ細かな支援ができるよう自立支援型のケアプラン作成に努めました。また、資格に関する更新研修や資質向上のための研修受講を事業所として後押ししました。

「訪問介護事業」は利用者が微増し増収となりましたが、職員の処遇改善の影響により人件費率も上昇し、引き続き厳しい事業展開となりました。

「通所介護事業」の事業収入は社協の運営を支える要であることから、利用者へのサービス向上と安定した収入を保つために介護に従事する職員の処遇改善と体制強化に取り組みました。年間を通して一定の収入を保ち、他の不安定な事業への収入補填を行うことができました。

受託事業関係

介護保険を申請し非該当だった方や外出機会の少ない虚弱な高齢者の方々に対しては、町より様々

な介護予防・生活支援事業を受託し、要介護状態にならない自立した生活が営めるよう支援しました。

「介護予防はつらつ元気づくり事業」では、開催日を集約するなどして、介護予防プログラムの充実やバイキング昼食を再開し全利用者へ提供する等サービス向上を図りましたが利用者が増えず、受託事業でありながら、本会の自主財源から多額の補てんが必要となりました。

月 1 回、地域の集会所等で行う「介護予防型ミニデイふれあい事業」では開催地区が 1 地区増え、介護予防を目的とした運動器機能向上に重点的に力を入れて在宅支援を継続しました。

「食の自立支援事業」では、住民ボランティアと在宅高齢者等がつながる事業として丁寧な対応と安否確認の徹底を行いました。利用者数の伸び悩みと食材費の高騰等から、自主財源からの繰り入れを余儀なくされました。

「高齢者ホームサポート事業」では、在宅生活の維持継続の為、日常生活援助に努めました。

障害児・者福祉サービスの居宅介護、同行援護等(ホームヘルプサービス)は、訪問介護事業同様厳しい事業展開となり、今後の事業展開については十分に検討する必要があります。

「法人後見事業」では、年度途中より受任者が 1 名増え、支援件数や相談対応件数が増加しています。地域包括支援センターや職能団体と協働して、適正な受任体制と対応に関する協議を重ねていきます。

地域福祉権利擁護事業では、利用契約者数が減少したものの相談援助件数は増加(+510 件)しており、手厚い支援が必要な利用者が増化している傾向にあります。

老人福祉センターの施設管理面では、老朽化による雨漏りや修理箇所の増加、修理費の増大、受託事業等の利用者増等の事業規模拡大に伴うスペース不足の課題などが生じています。令和 5 年度は教養娯楽室を移動し、今後の老人福祉センターや周辺展望については役場担当課と協議を継続します。

ボランティア活動推進

10 月の第 3 日曜日に福祉関係者が一堂に会し実施する福祉まつりは 4 年ぶりにイベント型で実施することができました。コロナ禍の約 3 年間にわたってカレンダー作成や展示企画等でつながりを維持してきた成果として多くの協力者や来場者の参加のもと、盛大に開催されました。社会福祉施設体験事業(ワークキャンプ)では、社会福祉施設とボランティア協力校との創作を通じた交流で利用者と児童生徒の繋がりを支援を図りました。また、町内中学生を対象に認知症、車椅子の使い方、高齢者の身体や気持ちを学ぶ講習会を地域包括支援センターと協働で実施し、学びの機会を提供しました。

ボランティア活動関係では、ボランティアセンターを活動推進の核とし、町内の様々な関係機関との連携を図りました。「音声訳ボランティア」と「介護アシスタントボランティア」の養成講座の実施や、現行のボランティア活動者の交流会、整髪ボランティアやネイルボランティア等の新たなボランティア開発など、地域住民が進んで参加でき、継続できる仕組みづくりに取り組みました。一般的には見えにくいとされるボランティア活動は、ボランティア活動保険【活動保険加入者数 613 人(-18)、行事用保険 41 件(+14)・参加者数 3,917 人(+1,133)】の加入者数で把握しており、今後も加入促進を図ります。福祉教育では、町内すべての小学校、中学校、高校、支援学校の 11 校(翔陽高校はレオクラブとしての独自の取り組み)を「ボランティア協力校」に指定し、本年は小学校 2 校、支援学校 1 校で福祉教育を行いました。

おわりに

昭和 27 年(1952 年)4 月から長年にわたり地域福祉推進に取り組んできた本会は、「地域の福祉力」の形成主体は住民であるという原点に立ち返り、住民の地域福祉への関心を高め、その自主的な取り組みを基礎とした住民主体の地域福祉活動(地域福祉)を推進することに重点をおいた事業を展開します。地域の福祉課題や生活課題を住民とともに協議し、課題解決に取り組む過程に多くの住民を巻き込み、「他人事ではなく自分の問題だ」と気付くための場を作り、「福祉は行政や社協、民間の福祉事業者任せにしておけば良い」という意識を変革します。隣近所や小地域での福祉活動の組織化は社協の使命であり、今後も社協が中心にすべき活動です。やさしいまちづくりの実現のため、本会役職員や関係者が総力をあげて社会福祉協議会の事業を広く住民へ周知し、多くの住民が福祉事業に関わることができるよう、事業の見直し・再検討を図り、地域福祉推進体制を確立します。

1.社会福祉を目的とする事業の企画及び実施

(1) 地域福祉関係

・地域福祉推進事業(第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進)	別紙1
小地域福祉活動実践地区 16地区【18行政区】(±0)	
【森、多々良、楽善、大津東、南杉水地区、引水、あけぼの、中陣内、日吉が丘、北出口、中央、真木、錦野、中学通り、中島、杉下】	
小地域福祉活動推進地区	1地区【1行政区】(+1)【緑ヶ丘区】
地域福祉推進委員の委嘱	41行政区 67名(+6)
地域福祉推進活動関係	合計 16回(-1)
地域福祉推進のための懇談会Ⅰ(5/9)	1回
地域福祉推進のための懇談会Ⅱ(9/26,9/27,9/28:小学校区ごとに分散して開催)	4回
地域福祉推進委員研修会(7/11)	1回
地域福祉推進職員等研修(6/20,8/21,9/14,11/6,11/8,11/29,12/5,12/26,2/16,3/15)	10回
小地域福祉活動実践地区・推進地区「座談会」開催支援	合計 6回(-7)
南杉水地区(桜丘区)「防災検討グループ支援」打ち合わせ(5/31)	1回
中島区(4/23)	1回
楽善区座談会打ち合わせ(5/25)	1回
楽善区(6/27,10/24,2/27)	3回
小地域福祉活動実践地区・推進地区への支援	合計 14回(+11)
南杉水地区(南杉水人権ふれあいフェスティバル 8/5)	1回
桜丘区(桜丘ふれあいフェスタ 10/22,つどいの場おしゃべりカフェ 1/30)	2回
つつじ台区(新任地域福祉推進委員への委嘱状交付 5/30)	2回
中陣内区(通いの場 5/22,新任地域福祉推進委員への委嘱状交付 6/16)	2回
大津東区(新任地域福祉推進委員への委嘱状交付 4/5,夏祭り 8/5)	2回
楽善区(ふれあいコンテナ回収 8/20,12/23)	2回
中島区(新任地域福祉推進委員への委嘱状交付 5/10)	1回
錦野区(カフェサロン花 12/24)	1回
緑ヶ丘区(みどりのサロン 5/15)	1回
視察研修の受入やその他の地域支援	合計 32回(+21)
高尾野区(新任地域福祉推進委員への委嘱状交付 4/5,4/7 サロン打ち合わせ 5/19,6/1,7/23,ふれあいサロン 7/30)	6回
立石区(サロン打ち合わせ 4/20)	1回
片俣区(いきいきサロン 4/20,地域福祉活動打ち合わせ 7/4,小さな夏祭り 8/26)	3回
内牧区(新任地域福祉推進委員への委嘱状交付 6/4 サロン打ち合わせ 7/14,8/17,ふれあいサロン 9/24)	4回
御所原区(サロン 7/25)	1回
下町区(通いの場 6/22)	1回
美咲野自治会(夏祭り 8/5)	1回
美咲野三丁目区(地域福祉活動打ち合わせ 3/4,井戸端会議 3/16)	2回
岩坂区(通いの場打ち合わせ 10/6,3/15)	2回
御願所区(サロン打ち合わせ 11/30)	1回
灰塚区(地域福祉活動打ち合わせ 2/13 新任地域福祉推進委員への委嘱状交付 3/6)	2回
新区(サロン 2/23)	1回
年越しフードパントリー打合せ(12/1)	1回
ひとり親世帯、困窮世帯への支援(年越しフードパントリー 12/27)	1回
わくわくカフェ(7/6,9/21,11/16,1/25,3/21)	5回
第3期地域福祉活動計画・地域福祉計画推進(福祉課協働)	合計 1回(+1)
地域福祉計画等推進委員会 3/26	1回

・在宅介護者の集い(1/30) 計 1回 参加者 7人(+4) 寄付金

・在宅介護者のサロン「野ばら」(奇数月の第2火曜日に実施) 計 6回(延べ参加者数 0人) 寄付金

実施日	5/9	7/11	9/12	11/14	1/9	3/12	計 6回(±0)
参加人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	合計 0人(±0)

(2) 法外援護救済関係

・行旅病人等旅費 (該当者数:0人)(±0) 寄付金

(3) 心身障がい者福祉関係

・ふれあい交流バスハイキングの開催 【中止】 共募

(4) ひとり親(母子・父子等)家庭福祉関係

・一日ふれあい交流会の開催(荒尾市)(11/26) 16人 共募
・フードパントリーへの協力 11回(+4) 共募
(4/8,5/27,6/17,7/8,9/3,10/3,10/29,11/25,1/28,2/23,3/24)
・ひとりだけの金婚式の開催(10/15) 2人(±0) 寄付金

(5) 老人福祉関係

・敬老会奨励補助金 (15地区(+5)、1186人(+309)) 寄付金
〔鍛冶、瀬田、下陣内、つつじ台、岩坂、桜丘、新、宮本、外牧、内牧、大津東、森、真木、美咲野、馬場〕
・一人暮らし老人鏡餅配布(75歳以上)(民協と協働) 12/24 寄付金
・もしも電話サービス*(5頁:再掲) 共募

(6) 青少年福祉関係

・児童相談の開催:第3火曜日に心配ごと相談と併設(12回)、主任児童委員との連携(随時)
・社会福祉施設等体験事業(ワークキャンプ) 【中止】 共募

社会福祉施設等体験事業(ワークキャンプ)代替事業の開催

感染症予防により町内社会福祉施設等での直接的な交流ができないため前年に続き代替事業を実施。

I. 社会福祉施設等体験事業(残暑見舞いハガキ作成・配付)

ボランティア協力校総数(7校)

・主な配付先(29施設)

【障がい福祉関係施設】(3施設)

大津あゆみ園、三気の会、つくしの里

【高齢者福祉関係施設】(16施設)

デイサービスいわさか、おおづセンターホーム、デイサービスつつじ山荘、つつじ山荘、
グループホームつつじのさと、おおつかの郷、デイサービス祐、グループホーム灰塚、
デイサービスぷらたなす、リハビリセンタースミレ大津、光進園、喜寿園、光喜園、
第二光喜園、まごころ本舗、デイサービス CoCo スタ

【児童福祉関係施設】(10施設)

風の子キッズ、風の子保育園、よろこび保育園、第二よろこび保育園、大津音楽幼稚園、
あゆみキッズクラブ、白川保育園、白川幼稚園、大津保育園、一字保育園

II. 社会福祉施設等体験事業「ふくしについて学ぼう!」 場所:大津町老人福祉センター

町内中学生を対象に認知症、車椅子の使い方、高齢者の身体や気持ちを学ぶ講習会を実施した。
(参加者 9名)

8/10 認知症サポーター養成講座 認知症について学ぶ

8/17 車イスの使い方について学ぶ、高齢者について学ぶ

(7) 低所得世帯福祉の推進

・生活福祉資金貸付事業(県社協委託事業) 詳細は8頁に掲載
・生活困窮者等自立相談支援事業関係(県社協委託事業) 詳細は8頁に掲載
・福祉金庫の設置・運営

貸付件数:0件(±0)、貸付金額:0円(±0)

【内年度内償還完了件数:16件(-1)】 48,000円(+6,000)

金額	10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円	20,001円以上 50,000円未満	50,000円以上 100,000円未満	100,000円
件数	0件(±0)	0件(±0)	0件(±0)	0件(±0)	0件(±0)	0件(±0)

新型コロナウイルス感染症対策に伴う特例貸付運営

貸付件数:9件(-5)、貸付金額:168,000円(-112,000円)

【内年度内償還件数:6件(-32)】 98,000円(-188,000)

金額	10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円	20,001円以上 50,000円未満	50,000円
件数	0件(-1)	3件(+1)	5件(-5)	1件(+1)	0件(-1)

※生活福祉資金相談員が生活福祉資金と併せて担当した。

(8) 権利擁護事業関係

・法人後見事業(町補助事業)

別紙2

保護類型	後見	保佐	補助	計	
受任件数	1 件	1 件	0 件	2 件	担当職員:1 名
(新規)		(1 件)	—	(1 件)	
活動件数	95 件	141 件	—	236 件	
相談対応件数	0 件	6 件	0 件	6 件	

法人後見事業運営委員会 11/21(1 回)、受任審査:1 件、受任決定:1 件

・地域福祉権利擁護事業関係(県社協委託事業・町補助事業)

日常的金銭管理等サービス利用援助

別紙3

利用者	精神	知的	高齢者	その他	計	利用者数:22 件(-3) 担当職員:3 名(±0) 生活支援員数:3 名(±0)
件数	8 件	7 件	6 件	1 件	22 件	権利擁護事業延べ活動数:2,445 回(+510)
(新規)	(1 件)	(1 件)	(0 件)	(0 件)	(2 件)	
解約	2 件	0 件	3 件	0 件	5 件	解約理由:自立による本人希望、死亡等

2. 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助

(1) ボランティア推進関係

・ボランティア協力校指定事業 指定校数 11 校(単独実施 1 校有)共募

(高校 1 校: 大津高校(翔陽高校単独)、中学校 2 校: 大津中・大津北中、支援学校 1 校: 大津支援学校
小学校 7 校: 大津小・室小・大津東小・大津南小・大津北小・護川小・美咲野小)

・ボランティア養成講座などの開催 (5 回(-2))共募

「介護アシスタント養成講座」 8/3(1 回)

「音声訳ボランティア養成講座」 11/2・11(2 回)

「配食ボランティア交流会」 9/4(1 回)

「さわやかコール交流会」 8/25(1 回)

・ボランティアの派遣受給調整

ボランティア相談 相談件数:40 件(+17)

ボランティア登録 登録件数:44 件(+3)

ボランティア活動保険 加入者数:613 人(-18)

ボランティア行事用保険加入件数 41 件、3,917 人(+1133)

送迎サービス補償加入件数 0 件、0 人(±0)

福祉サービス総合補償加入件数 1 件、75 人(-3)

・各種ボランティアサービスの実施

音声訳サービス (利用者数:6 人、CD24 枚)

点訳サービス (利用者数:3 人、点訳本 36 冊)(±0)

・もしも電話サービス*(利用者数 49 人)(-20) 1 年間延べ利用者数 1,133 人(-491) 共募

利用曜日	登録利用者数	実施日数	年間延べ利用者数	ボランティア人数	
水曜日 (第 1.3)	13 人	22 日	281 人	2 人	延べ 22 人
水曜日 (第 2.4)	11 人	22 日	250 人	2 人	延べ 22 人
金曜日 (第 1.3)	14 人	24 日	324 人	2 人	延べ 23 人
金曜日 (第 2.4)	11 人	23 日	258 人	2 人	延べ 24 人
合 計	49 人	91 日	1,133 人	8 人	延べ 90 人

- ・食の自立支援事業担当者会議 9/4(1回)
- ・ボランティア連絡協議会への協力 (R2年度より活動休止)
- ・収集ボランティアへの協力
 - 古切手 (8人、6団体)(+2、-1団体)
 - 使用済みテレホンカード (0人)(±0)
 - 書き損じ葉書 (2人、1団体)(+1)
 - 未使用葉書 (0人)(±0)
 - その他(ベルマーク他) (0人)(±0)
- ・福祉教育関係
 - 高齢者疑似体験(護川小1回、大津東小1回、大津支援学校1回) 【合計:3回】(-1)
- ・災害ボランティアセンター活動関係
 - 菊池圏域ブロック社協災害相互応援協定会議(菊陽町)9/13、3/14 2回
 - 菊池圏域ブロック社協定期情報交換会及び打ち合わせ 7/4、11/6、12/22(菊陽町) 3回
 - 菊池市社協災害ボランティア研修会 6/23(菊池市) 1回

(2) 善意銀行の設置・運営

令和5年度大津善意銀行状況

現金口座(払出0件)、物品口座(預託26件、払出26件) 別紙4

3. 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成

(1) 福祉啓発関係

- ・福祉まつりの開催 10/15 大津町役場周辺 共募
 - ・民生児童委員退任記念品の贈呈 2人(-31) 寄付金
 - ・地域福祉推進懇談会の開催 (5/9、9/26、9/27、9/28:小学校区ごとに分散して開催)5回 共募
 - ・ふれあいサロン推進事業 助成18ヶ所(+9)【延べ327回】 共募
- あけぼの区:12回/年、北出口区:5回/年、多々良区:6回/年、錦野区:10回/年、岩坂区:12回/年
 下陣内区:13回/年、新区:12回/年、片俣区:11回/年、立石区:48回/年、桜丘区:48回/年、
 真木区:19回/年、緑ヶ丘区:48回/年、中陣内区:42回/年、内牧区:4回/年、鍛冶区:8回/年
 高尾野区:9回/年、下町区:9回/年、御所原区:11回/年

(2) 各種福祉団体への助成

. 5団体(±0) 寄付金

身体障がい者福祉会	老人クラブ連合会	ひとり親家庭福祉協議会
更生保護女性会	民生児童委員協議会	

(3) 調査広報関係

- 介護保険認定者数調査(要介護1,209、要支援385) 1,594人(+25)
- 65歳以上の介護認定率 18.9%(+0.23)
 - ※ 65歳以上人口8,391人
- 障害手帳保持者調査 1,924人(+29)
 - 内訳:身体障害者1,167人(-5)、知的402人(+13)、精神355人(+21)
 - ※ 精神通院公費負担者861人(+39)は含まず。(令和5年3月末現在)
- 生活保護世帯調査 184世帯(-2)
- ひとり親(母子父子)世帯調査(母子260、父子21、その他5) 286世帯(+8)
- 一人暮らし高齢者調査(男性264(+22)、女性589(-30)) 853世帯(-8)
- 高齢者夫婦世帯調査 1,040世帯(+62)
- 地区別高齢化率調査
 - 町内高齢化率 23.46%(+0.34)
 - 最高地区「米山区」 92.86%
 - 最低地区「美咲野4丁目区」 1.24%
 - 町平均以上の地区数 71.0%(49/69行政区)(-2)
 - 町平均以下の地区数 29.0%(20/69行政区)(+2)
 - 北部地区(北小校区:50.04%、護川小校区:33.78%) 41.91%
 - 中部地区(大津小校区:24.71%、室小校区:24.99%、美咲野小校区:15.14%) 21.61%
 - 南部地区(南小校区:40.04%、東小校区:52.79%) 46.41%

15歳未満人口調査 5,792人(-167)
 15歳未満人口比率調査 16.1%(-0.48)
 人口調査 35,945人(-1)
 世帯数調査 16,062世帯(+414)

社協広報「ふれあいネットワーク通信」の発行 (毎月:全戸配布 14,500部) **共募**
 【毎月15日発行の町生涯学習情報紙に同時掲載】(14,500部×12ヶ月=174,000部)(+6,000)

ホームページの運営 アドレス【<http://o-shakyo.info/>】
 【年間カウント数 6,673件(+910)】

社協ブログ(日記)の運営 アドレス【<http://blog.goo.ne.jp/o-shakyo>】
 【年間カウント数 85,646件(+19,061)、年間掲載記事件数 163件(-8)】

X(旧ツイッター)の運営 アドレス【<https://twitter.com/oozushakyo>】
 【フォロー783件(+57)、フォロワー1,852件(+192)】

フェイスブック(情報掲示板)の運営 アドレス【大津町社会福祉協議会】
 【いいね! 1,212件(+5)】

ライン(ミニ情報掲示板)の運営 アドレス【@566zwroh】
 【友達申請 36件(+10)】

インスタグラム(アルバム記録)の運営
 【投稿 276件(+126)、フォロー405件(+115)、フォロワー673件(+225)】

4. 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業

(1) 各種募金活動への協力(日赤、共募)

令和5年度 日本赤十字社熊本県支部大津町分区 **別紙5**

目標 4,517,000円(実績 4,107,500円)90.9%

(昨年度比:目標+78,000円、実績-25,500円)

協力率 50%、[協力世帯数:8,060世帯、世帯数:16,062世帯](令和6年3月末現在)

令和5年度 熊本県共同募金会大津町分会 **別紙6**

目標 5,762,000円(実績 5,952,749円)103.3%

(昨年度比:目標-1,000円、実績+240,044円)

協力率 51%、[協力世帯数:8,144世帯、世帯数:16,062世帯](令和6年3月末現在)

(2) 在宅福祉サービスの充実

・介護用品等の無料貸出 貸出総件数:75件(+31)

車椅子 30件(31台)、ポータブルトイレ 3件(3台)、身長計 6件(6台)、シャワー椅子 2件(2脚)
 レクリエーション用具等 高齢者疑似体験セット 1件(2セット)、プロジェクター・スクリーン 14件(14台)、
 日赤大鍋 2件(4セット)、輪投げ 9件(9台)、ルーレットゴルフ 2件(2台)、カラオケセット 1件(1セット)、
 ボーリングセット 8件(10セット)、ボッチャ 4件(4セット)、ボール 1件(1個)、モルック 8件(8セット)、
 スピーカーマイクセット 2件(2台)、座布団 1件(10枚)、テント 1件(3張)、テント重り 1件(18個)、
 DVD 2件(4枚)、椅子・座卓 1件(40脚・2台)、共同募金タスキ・募金箱 1件(17本・4個)

(3) 町受託事業関係(介護予防・生活支援事業、地域支援事業等)

(ア)令和5年度 高齢者ホームサポート事業状況 **別紙7**

年間延べ利用回数 264回(+52) 派遣時間 264時間(+52)

(イ)令和5年度 食の自立支援事業状況 **別紙8**

年間延べ利用者数 5,448人(-382) 実施日数 309日(-1)

(ウ)令和5年度 生きがい活動通所支援事業状況

・介護予防はつらつ元気づくり事業状況 **別紙9-1**

年間延べ利用者数 2,986人(-673) 実施日数 279日(-26)

・介護予防型ミニデイふれあい事業状況 **別紙9-2**

年間延べ利用者数 2,099人(+50) 延べ実施地区数 305地区(-6)

(エ)令和5年度 心配ごと相談事業状況 **別紙10**

相談員 10名:年間延べ相談件数 75件(+19)(実施日数 61日(+1))

(オ)令和 5 年度 老 人 福 祉 セ ン タ ー 利 用 状 況 集 計 表 別紙11
年間延べ利用者数 18,810 人(+1,356) 開館日数 361 日(±0)

避難所開設(福祉避難所) 開設 8 日間(-1)(避難者延べ 49 世帯(-2):53 名(-39))
大雨避難所開設<<避難者 6 世帯、6 名>> (6/30~7/1)2 日間
大雨避難所開設<<避難者 4 世帯、5 名>> (7/3)1 日間
大雨避難所開設<<避難者 0 世帯、0 名>> (7/4~5)2 日間
台風 6 号避難所開設<<避難者 39 世帯、42 名>> (8/8~8/10)3 日間

(カ)生活福祉資金貸付事業(県社協委託事業)
生活福祉資金相談員活動状況 別紙12
生活福祉資金相談員を配置 【相談件数:247 件】(-39)

申込件数:1 件	貸付件数:1 件	貸付合計額: 55,000 円
----------	----------	-----------------

(キ)生活困窮者等自立相談支援事業関係(県社協委託事業)
生活困窮者等自立相談支援事業状況 別紙13
年間相談件数 76 件(-7)(年間延べ活動回数 1,048 回)(-56)

(4) 介護保険事業等状況関係 及び 介護予防・日常生活支援総合事業関係
(ア)令和 5 年度 居 宅 介 護 支 援 事 業 等 状 況 別紙14
月平均利用人数 69 人(+4)(介護1:44 人、介護2:13 人、介護3:6 人、介護4:3 人、介護5:3 人)
介護予防等:月平均利用人数 11 人(-1)(要支援1:3 人、要支援2:5 人、事業対象者:3 人)
介護保険等収入(補助金事業収入を除く):10,202,120 円(+323,580 円)

(イ)令和 5 年度 訪 問 介 護 事 業 等 状 況 別紙15
合 計:年間延べ利用人数 3,684 人(+610)(派遣時間 3,516 時間 58 分)
内 訳:訪問介護:年間延べ利用人数 2,813 人(+838)(派遣時間 2,691 時間 48 分)
総合事業:年間延べ利用人数 871 人(-228)(派遣時間 825 時間 10 分)
介護保険等収入(補助金事業収入を除く):13,164,450 円 (+2,966,450 円)

(ウ)令和 5 年度 通 所 介 護 事 業 等 状 況 別紙16
合 計:年間延べ利用人数 6,765 人(+668)
内 訳:通所介護:年間延べ利用人数 5,944 人(+637)
総合事業:年間延べ利用人数 821 人(+31)
介護保険等収入(補助金事業収入を除く):49,010,050 円(+4,520,300 円)

(5) 介護職員処遇改善の状況
訪問介護事業、通所介護事業、障がい者居宅介護事業に従事する介護職員へ支給

支給月額	正規職員	嘱託職員	パートタイム職員	登録ホームヘルパー
介護職員処遇改善手当	13,000 円	11,000 円	8,000 円	6,000 円
ホームヘルパー手当	2,000 円	2,000 円	2,000 円	2,000 円

(6) 障害者居宅介護事業状況関係
(ア)令和 5 年度 居 宅 介 護 事 業 状 況 別紙17
合 計:年間延べ利用回数 2,795 回(+134)(派遣時間 3,891 時間 45 分)
内 訳:居宅介護:年間延べ利用回数 2,446 回(+141) (派遣時間 2,914 時間 45 分)
同行援護:年間延べ利用回数 168 回(±0) (派遣時間 405 時間 00 分)
移動支援:年間延べ利用回数 181 回(-7) (派遣時間 572 時間 00 分)
障がい福祉サービス等収入(補助金事業収入を除く):11,922,080 円(+1,150,350 円)
・社会福祉法人等による利用者負担額軽減(障害者居宅介護事業) 0 名(±0)

・役員会等

・ファンドレイジング関係

・実習受入関係

・視察等受入関係等

・職員研修・会議等

・職員会議関係

- 9 -

・職場内研修等関係

実施日	内容	講師等
7/28	接遇	くまもと県民カレッジ認定講師 野村順子氏
9/22	救急法	日赤熊本県支部 参事 坂本清美氏
11/17	交通安全講習	大津警察署 交通課 上原弘幸氏
1/26	運動	(株)くまもと健康支援研究所 伊東善範氏
毎月	訪問介護従事者	ミーティング時に研修を実施
毎月	通所介護従事者	ミーティング時に研修を実施
毎月	障がい者居宅介護等従事者	ミーティング時に研修を実施
9/11	職員健康診断 ストレスチェックテスト	熊本県総合保健センター移動検診車 オンライン受検

・防災関係

町地域防災会議及び水防協議会・国民保護協議会	【5/29】
大津町総合防災訓練実行委員会	【7/28】
町総合防災訓練	【10/22】
消防訓練:1回	【2/15】

・各種団体事業への協力

つつじ祭りへの協力(つつじ祭り実行委員会主催)	【4/23】
つつじ祭り慰霊祭(日吉神社下忠魂碑前)への協力	【4/22】
からいもフェスティバルへの参加(からいもフェスティバル実行委員会主催)	【11/12】
各種団体総会等への参加(大津町)	
・【更生保護女性会 4/28、身体障がい者福祉会 5/19、老人クラブ連合会 4/26、ひとり親家庭福祉協議会 5/27】	
民生委員児童委員協議会定例会(民生委員児童委員協議会主催)	【毎月第1金曜日】
民生委員推薦会(福祉課主催)	【3/8】
地域ケア会議定例会(地域包括支援センター主催)	【毎週火曜日】
大津町在宅医療・介護連携会議(地域包括支援センター主催)	【10/20、2/7(研修会)】
大津町福祉の窓口包括化推進会議(福祉課主催)	【毎月1回】
大津町要保護児童対策及び防止対策地域協議会への参画	【6/30、2/26(研修会)】
大津町男女共同参画審議会への参画	【5/15、7/12、8/30、11/1、2/7】
大津町スポーツ推進審議会への参画	【7/14、3/22】
社会を明るくする運動	【中止】
青少年育成町民会議	【6/23】
大津高等学校 学校運営協議会	【11/30、2/22】
大津支援学校 学校運営協議会	【6/14、10/25、2/7】
老人クラブ連合会(会長会、女性部会、シルバーヘルパー定例会(老人クラブ連合会主催))	運営支援
NPO 法人(特定非営利活動法人)(みんなのおうち、あぼり、すまいる、ココリス、さくらんぼ)	活動支援
おおづおにぎり会(子ども食堂)、陣内食堂(地域食堂[三気の里:BeTree])	活動支援

・寄付団体一覧

大津町心配ごと相談員一同	4/27・12/22	ミルクカフェ	11/17
熊本大津ライオンズクラブ	5/2	大津町民生委員児童委員協議会	12/24
菊池郡の未来を考える会 (チャリティーゴルフ益金)	8/23	大津クリスマス夜市実行委員会	12/25
大津町ひとり親家庭福祉協議会	10/16	東京エレクトロン九州(株)	
NPO こどもサポート・みんなのおうち	11/1	(マッチングギフトによる寄附)	3/31